おおいた徴収カレッジ（初任者講座）

【合同研修】

目的	徴収職員としての基本的知識のみならず、必要な心構え・姿勢を学ぶとともに、先進団体の取組に触れ、時代に則した感覚を身につける。また、多くの意見交換の場などを通じて県内自治体職員のネットワークを強化し、徴収事務の効率化や連携した取組の実現に繋げる。			
内容	・徴収職員としての基礎となる法令知識、県内自治体徴収職員による滞納整理における心構え・姿勢について ・守秘義務と情報管理についての講義や、窓口対応・納税折衝についての取組発表及びロールプレイング			
実施年月日	第1回：令和５年　６月１３日（火）～１４日（水） 第2回：令和５年　８月　７日（月）		定員	４５名（市町村職員３０名　県職員１５名）
対象者	（市町村）　新任徴収事務担当職員（地方税の滞納処分の例により強制徴収する者） （県）　新任徴収事務担当職員（地方税の滞納処分の例により強制徴収する者）			
実施場所	大分県自治人材育成センター			
推薦期限	令和５年５月12日（金）	《第５回》	経費内訳	内訳表１
指定ホテル	－		その他留意事項	－
研修講師	【第1回】 〇オリエンテーション～滞納整理の心構え～　【　未定　】 〇地方税財政の基本・概要　【　未定　】 〇地方税法総則　【 東京都主税局 徴収部 個人都民税対策課　滞納整理専門課長 】 〇国税徴収法　【 東京都主税局 徴収部 個人都民税対策課　滞納整理専門課長 】 【第2回】 〇守秘義務と情報管理　【　未定　】 〇窓口対応・納税折衝について （心構え・県内先進団体の取組発表）　【　未定　】 （ロールプレイング）　【　未定　】			
受講者の声	・徴収職員として必要な滞納整理実務の基本的知識や心構えを学ぶことが出来た。 ・重要となる法的根拠の基礎知識や実務における運用など条文とともに詳細に説明頂いた。 ・講師の経験をもとに話してくれ、徴収事務を前向きにとらえることができた ・他の市町村の滞納整理のやり方等、貴重な意見を多く聞くことが出来た。			
備考				

■第１回（オリエンテーション、地方税法総則、国税徴収法等）　令和５年　６月１３日（火）～１４日（水）

＜時間割＞

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
1日目	受付（20 30）	オリエンテーション	オリエンテーション～滞納整理の心構え～	休憩（10）	地方税財政の基本・概要	昼食	地方税法総則（講義）		（30）
2日目	受付（30）	地方税法総則（講義）	休憩（40）	国税徴収法（講義）	昼食（50）	国税徴収法（講義）		閉講（15）	

■第２回　（守秘義務と情報管理、窓口対応、納税折衝について）　令和５年　８月　７日（月）

＜時間割＞

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:30
1日目	受付（20 30）	オリエンテーション	守秘義務と情報管理（講義・事例演習）	休憩（10）	窓口対応・納税折衝について（心構え、県内先進団体の取組発表）（20）	昼食	窓口対応・納税折衝について（ロールプレイング）		閉講（20）	

※上記内容は、研修実施時に変更されることがありますので、予めご了承ください。